

合同教育研究会議（11月11日開催）議事概要

1 開催日時

令和2年11月11日（水）13:00～14:40

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、堀江副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、橋本企画本部長、劉国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、
亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、菊池盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、川崎生活科学科長、原国際文化学科長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、
（欠席者）大志田経営情報学科長、
長谷川委員（学外委員：東北大学未来科学技術共同研究センター長）
（事務局）鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、藤村企画室長、高橋宮古事務局長、八木主幹、鈴木主幹

4 会議の概要

議事録確認

前回会議10月14日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた中期計画令和2年度計画の変更（案）について（資料No. 1）

橋本本部長から資料に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた中期計画令和2年度計画の変更案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

委員から、計画の変更は、新型コロナウイルス感染症対応について、項目を追加する形で対応し、現行の計画は変更をせずに業務実績報告するとのことであるが、達成すべき目標が変わらない項目に関しては、担当者は結果を出そうとして無理をしないか心配であるとの発言があり、これに対し、橋本本部長から、知事に計画変更の届け出を行う際に、新型コロナウイルス感染症の影響に係る県評価委員会の認識を確認できれば、それを踏まえた業務実績報告取りまとめのガイドラインのようなものの作成を検討したいとの回答があった。

委員から、新型コロナウイルス感染症の影響により延期・中止・代替措置した取組等については変更せず、業務実績報告においてその旨記載するという認識が各担当に浸透するよう取り組んでいただきたいとの発言があり、これに対し、藤村室長から、令和元年度の実績報告の中で、県評価委員会から実際は計画に到達しなかったものでも、次の形につながるような書き方をすることで良いとの確認を得たところなので、

報告の書き方について、企画本部において検討したいとの回答があった。

鈴木学長から、業務実績の評価は、評価委員に任せることとしてよいのではないかと発言があった。

委員から、中間評価と最終評価にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響がどれだけ出るかわからないので、県評価委員会と評価方法等の擦り合わせをお願いしたいとの発言があった。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

- (1) **令和2年度前期遠隔授業に関する学生アンケートの集計結果について（資料 No. 2）**
猪股本部長から資料に基づき、新型コロナウイルス感染症の全国的拡大や緊急事態宣言を受け実施した遠隔授業に関する学生アンケートの結果について報告があった。
- (2) **令和2年度前期遠隔授業に関する教員アンケートの実施について（資料 No. 3）**
猪股本部長から資料に基づき、新型コロナウイルス感染症の全国的拡大や緊急事態宣言を受け実施した遠隔授業に関する教員アンケートの実施について報告があった。
- (3) **令和2年度全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナー開催要項（資料 No. 4）**
猪股本部長から資料に基づき、令和2年度の全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナーの開催について報告があった。
鈴木学長から、このセミナーを全教員に配信できないかとの質疑があり、これに対し、猪股本部長から、録画は可能であるとの回答があった。
鈴木学長から、このセミナーを録画して、参加できなかった教員に配信してみてもどうかとの発言があった。
- (4) **令和3年度大学入学共通テストに係る対応について（資料 No. 5）**
猪股本部長から資料に基づき、岩手県内の志願状況を踏まえた令和3年度の大学入学共通テストに係る対応について報告があった。
- (5) **新型コロナウイルス感染症対策に対応した入学試験の実施について（資料 No. 6）**
猪股本部長から資料に基づき、国の「新型コロナウイルス感染症対策に対応した試験実施のガイドライン」の改正に対応した入学試験の実施について報告があった。
鈴木学長から、できるだけ多くの教職員等が参加するようなシステムを組み、早めに割振りしてもらいたいとの発言があった。
- (6) **経済の低迷に対応した就職支援の取組について（資料 No. 7）**
似鳥本部長から資料に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される全国及び本学の就職活動の状況及び経済の低迷に対応した本学における就職支援の具体的な取組等について報告があった。また、これに関し、石堂副学長兼高等教育推進センター長から、就職支援は平成23年の中央教育審議会の答申により既に大学設置基準に盛り込まれており、大学の中にキャリア教育が位置付けられていることについて、

各学部の教員にコンセンサスを図ってもらいたいとの追加の発言があった。

委員から、「コロナ×就活」と題した調査を考えており、キャリアセンターとの共催は可能かとの質疑があり、これに対し、似鳥本部長から、できることは協力したいとの回答があった。

鈴木学長から、本学学生向け就職活動ロードマップを見ると、「自ら挨拶することができる」「適切なレスポンスができる」「基本的な日本語ができる」などとあるが、これらは大学教育であり、就職支援として切り離すのではなく、授業の中に取り込んでほしいとの発言があった。

(7) 令和2年度岩手県立大学の就職内定状況（10月末現在）について（資料 No. 8）

似鳥本部長から資料に基づき、10月末現在の岩手県立大学の就職内定状況について報告があった。

(8) 教育研究者総覧の入力・更新状況について（資料 No. 9）

狩野本部長から資料に基づき、教育研究者総覧の入力・更新状況について報告があった。

(9) 県と県立大学との意見交換会について（資料 No. 10）

橋本本部長から資料に基づき、県と県立大学との意見交換会の今年度の実施について報告があった。

(10) 岩手県立大学における東日本大震災津波から10年を迎える対応について（資料 No. 11）

橋本本部長から資料に基づき、東日本大震災津波から10年を迎える対応に係る取り組みについて協力依頼があった。

鈴木学長から、エッセンスをA4、8枚程度でまとめる工夫をしてもらいたいとの発言があった。

(11) 令和2年度「就職先企業アンケート」の実施について（資料 No. 12）

橋本本部長から資料に基づき、認証評価及び法人評価の受審サイクルを踏まえた就職先企業アンケートの実施について報告があった。

(12) 令和2年度「教職員アンケート」の実施について（資料 No. 13）

橋本本部長から資料に基づき、認証評価及び法人評価の受審サイクルを踏まえた教職員アンケートの実施について報告があった。

(13) 令和2年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の実施について（資料 No. 14）

橋本本部長から資料に基づき、新入生アンケート及び2年次生アンケートを新型コロナウイルス感染症感染防止のためにウェブ上で実施することについて報告があった。

(14) 教員業績評価制度の検証に係るアンケートの実施について（資料 No. 15）

橋本本部長から資料に基づき、教員業績評価制度に関するアンケートの実施について説明があった。

鈴木学長から、研究者総覧の内容は、教員業績評価や年次報告と大きくオーバーラ

ップするので、教員データベースを作成し各所で利用した方がよいとの発言があった。

- (15) 学生センター・キャリアセンターにおける窓口閉鎖（12/28）について（資料 No. 16）
鎌田室長から資料に基づき、職員の休暇取得の促進及びワークライフバランスの推進を図るため、今年度は12月28日（月）についても窓口を閉鎖することについて、報告があった。
- (16) 学生センター窓口の事務取扱時間の短縮（試行）について（資料 No. 17）
鎌田室長から資料に基づき、働き方改革の推進及び業務効率の改善を目的として、12月1日（火）から学生センター窓口の事務取扱時間の短縮（試行）を行うこと及び試行期間中に事務取扱時間の短縮の効果等を検証した上で、令和3年度から本格実施する予定としていることについて報告があった。
- (17) 新型コロナウイルス感染症に係る後期の経済的支援について（資料 No. 18）
鎌田室長から資料に基づき、新型コロナウイルス感染症に係る後期における経済的支援を行うことについて報告があった。
- (18) インフルエンザ予防接種補助事業の実施について（資料 No. 19）
鎌田室長から資料に基づき、学生のインフルエンザ予防接種の負担軽減等のためインフルエンザ予防接種助成事業を実施することについて報告があった。
鈴木学長から、どれだけ学生に周知されているかとの質疑があり、これに対し、鎌田室長から、通知は学生全員にメールで出しており、既に5件程度の申し込みがあったが、予防接種を一般の方が受けられるようになったのは10月26日以降であることから、今後増えると見込まれるとの回答があった。
鈴木学長から、11月半ばに集計して再度通知を出してはどうかとの意見があり、これに対し、鎌田室長から、予防接種の望ましい時期もあるので、時期をみて学生に通知したいとの回答があった。
- (19) 令和3年度公立大学法人岩手県立大学予算編成方針（資料 No. 20）
鈴木事務局次長から資料に基づき、令和3年度公立大学法人岩手県立大学予算編成方針について報告があった。
- (20) 令和2年度夏季の使用電力量について（資料 No. 21）
鈴木事務局次長から資料に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により授業期間が9月中旬まで延長された令和2年度夏季の使用電力量について報告があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和2年度全学FD・SDプログラム第1回高等教育セミナー参加状況及びアンケート結果について（資料 No. 22）
- (2) 令和3年度編入学試験及び令和3年度大学院入試入学手続結果について（資料 No. 23）
- (3) 令和3年度大学院入学者選抜第2次募集に係る募集人員の決定について（資料 No. 24）
- (4) 新型コロナウイルス感染症防止対策に係る冬季期間（11月～3月）の換気について（資料 No. 25）

- (5) 滝沢市、県立大学、エーアールシーとの地域活性化を目的とした協定の締結について（資料 No. 26）
- (6) 令和2年度知的財産セミナーの開催について（資料 No. 27）
- (7) 令和2年秋の叙勲受章について（資料 No. 28）
- (8) 短期大学教育功労者表彰について（資料 No. 29）
鈴木学長から資料に基づき、菊池委員が短期大学教育功労者表彰を受章したことについて紹介があった。
- (9) 令和2年度第2回職員衛生委員会開催結果について（資料 No. 30）

その他

藤澤室長から、先週に締め切った令和3年度の科研費の応募について、最終的に101件の応募があったことの報告及び応募協力への謝辞があった。

藤村室長から、机上に配布した大学基準協会の広報誌には、ポストコロナ時代の大学教育といった内容の特集があるのでご覧いただきたいとの報告があった。